



平成26年5月17日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電話 029-869-8446)

(訂正)「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年5月15日に公表しました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 訂正の理由

1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析【当期の経営成績】の「ロボットスーツHAL福祉用」の運用施設数、稼働台数の転記に誤りがあったため、これを訂正します。

2. 訂正の箇所

(2ページ)

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

〈訂正前〉

介護福祉や生活支援の分野においては、世界初のパーソナルケアロボットの国際安全規格(ISO/DIS 13482)の認証を取得した「ロボットスーツHAL福祉用」が、当連結会計年度においても引き続き日本国内の福祉施設や病院に導入され、平成26年3月時点で、166施設で運用され、566台が稼働中です。また、鈴鹿ロボケアセンター(三重県鈴鹿市)、湘南ロボケアセンター(神奈川県藤沢市)、大分ロボケアセンター(大分県別府市)を設立し、ロボットスーツHALを利用した歩行練習等のトレーニングサービスなどの提供を開始しました。

〈訂正後〉

介護福祉や生活支援の分野においては、世界初のパーソナルケアロボットの国際安全規格(ISO/DIS 13482)の認証を取得した「ロボットスーツHAL福祉用」が、当連結会計年度においても引き続き日本国内の福祉施設や病院に導入され、平成26年3月時点で、162施設で運用され、355台が稼働中です。また、鈴鹿ロボケアセンター(三重県鈴鹿市)、湘南ロボケアセンター(神奈川県藤沢市)、大分ロボケアセンター(大分県別府市)を設立し、ロボットスーツHALを利用した歩行練習等のトレーニングサービスなどの提供を開始しました。

以 上